

新フェローの紹介

腰塚 武志 (こしづか たけし) 氏

昭和19年3月5日生れ
〔現住所〕茨城県つくば市並木3-626

〔学歴〕昭和41年 東京大学工学部都市工学科卒業

昭和44年 東京大学大学院工学系研究科博士過程中途退学

昭和52年 工学博士

〔職歴〕

昭和44年 東京大学工学部助手

昭和53年 筑波大学社会学系助教授

平成2年 同教授

〔OR学会関係〕第4回 事例研究奨励賞授賞 昭和59年, 理事(庶務) 昭和63年~平成元年度, 理事(国際) 平成3~4年度, 評議員, 平成6年度, その他研究普及委員, 機関誌編集委員, 論文誌編集委員, 国際委員などを歴任。

〔著書等〕都市計画数理(共著, 朝倉書店), 計算幾何学と地理情報処理 第2版(編著, 共立出版), 他著書2冊, 論文57編(審査付22編), OR学会発表35件。

腰塚氏は, 都市計画, 特に都市や地域の数理的解析の分野において活躍され, 顕著な業績をあげてこられました。発表された論文は, 複雑な現実の中から, 問題の本質的な部分だけを切り出し, 簡潔なモデルを導き, 実証につなぐという方法論によって貫かれており, そのため非常に理解しやすく, かつ豊かな議論を可能としております。このようなすぐれた研究が続けられるとともに, 他方, さまざまな分野において若手研究者の指導育成にも尽力され, また, 本学会の運営にも委員, 理事, 評議員として貢献してこられました。

齋藤 嘉博 (さいとう よしひろ) 氏

昭和3年8月18日生れ
〔現住所〕東京都渋谷区西原2-47-7

〔学歴〕昭和30年 東京大学工学部電気工学科卒業

〔職歴〕

昭和34年 NHK放送技術研究所入所



昭和40年 M. I. T. ORセンター留学

昭和44年 NHK経営情報室副主管

昭和56年 同技術本部計画部長

昭和58年 同衛星放送推進本部経営主幹

昭和60年 ㈱日立製作所ニューメディア推進本部主幹技師長

平成元年 同社ハイビジョン戦略開発本部主幹技師長

同 年 武蔵野美術大学映像学科教授兼任

平成4年 ㈱日立製作所退社

〔OR学会関係〕第14回 普及賞授賞 平成元年, 評議員 昭和45~46年度, 昭和53年~平成2年度, 理事(庶務) 昭和50~51年度, 理事(無任所) 昭和61~62年度, 副会長, 平成3~4年度, その他OR企業サロン企画委員長, 丸の内OR研究会企画委員長などを歴任

〔著書等〕オペレーションズリサーチ概論(訳, 日科技連出版社, 1972), 信頼性の基礎数学(デミング文献賞, 1973), 予測(日科技連出版社, 1970), シミュレーションの法則(第一企画出版, 1983), 高度情報社会(共著, ジャパンタイムズ社, 1988)など, 他論文, 内外学会発表多数。

齋藤氏は, NHK在職時代, 経営情報室, 計画部などの計画部門にあつて放送関連機器の信頼性向上につとめられ, ORを適用した装置の設計, 保守の方策を確立された。また, 選挙予測, 視聴率予測, 営業計画, 放送衛星計画などの分野にORを適用してNHKの経営合理化に貢献されるとともに, 研修などを通じてORの普及に努めてこられました。大学に奉職された後は, これまでORとは全く縁のなかった美術の分野, 特に, ますます大型化する映像製作などへのOR適用について, イベントマネジメントの講義などを通じた講義を行なっておられ, この分野での科学的な思考と実践のための教育に当たっておられます。また, 副会長などの役員を歴任, 学会運営の改善, 発展に長年にわたり貢献してこられました。

高井 英造 (たかい えいぞう) 氏

昭和12年4月5日生れ
〔現住所〕静岡県静岡市小鹿755-4-209

〔学歴〕昭和36年3月 千葉大学工学部工業化学科卒業

昭和40年6月 コロンビア大学工学部大学院修士課程修了

(M. S. in Industrial and Management Engineering)



〔職歴〕

昭和36年4月 三菱石油(株)入社
 昭和45年1月 東北石油(株)コンピュータ・システム主任 (出向)
 昭和53年9月 三菱石油(株)数理計画部ORグループ主査
 昭和60年6月 同社企画二部次長
 平成元年6月 同社エネルギー調査部長
 平成6年4月 静岡大学人文学部経済学科教授

この間、コロンビア大学工学部助手、放送大学非常勤講師、東京理科大学非常勤講師等を歴任、一部現在兼任 (OR学会関係) 研究普及委員、昭和55～57年度、理事 (研究普及) 昭和59～60年度、評議員 昭和61年～平成3年度、表彰委員 昭和63年度～現在、機関誌編集副委員長 平成元年～2年度、副会長 平成3～4年度、研究普及委員長 平成3～4年度

〔著書等〕オペレーションの計画と管理 (翻訳、東洋経済新報社、1969)、数理計画法の応用 (編著、技報堂、1980)、階層化意思決定法：AHP事例集 (共著、日科技連出版社、1990)、エキスパート・エクゼクティブ (共訳、オーム社、1990)、線形計画法 (共著、日本放送出版協会、1993)、論文、報文、学会発表等多数

高井氏は、石油・エネルギー関係におけるORの実践を長年にわたって推進してこられました。その活動範囲は三菱石油におけるさまざまな経営計画や経営意思決定に対するOR活動の実施と定着化、経営計画支援システムの開発といった企業内の面に止まらず、わが国のエネルギー・環境政策に立案に対するORの活用や、海外諸国や放送大学等におけるわが国のOR実施に関する講義等非常に幅広く、産・官・学にまたがるORの普及と実践に多くの業績をあげてこられました。また、IFORSや学術会議研連、本学会等において企業における実践の立場からのORについて積極的な発表を行なっておられます。本学会においては副会長、理事、委員、評議員等を歴任され、さらに、いくつもの研究部会において中心的に活動される等、本学会の運営と発展に多大の貢献をされておられます。

橋田 温 (はしだ おん) 氏

昭和13年1月2日生れ
 〔現住所〕千葉県千葉市若葉区都賀の台3-2-9
 〔学歴〕昭和36年 東京大学工学部電気工学科卒業
 昭和57年 工学博士
 〔職歴〕
 昭和36年 日本電信電話公社



入社

昭和45年 同社電気通信研究所研究専門調査員
 昭和49年 同社武蔵野電気通信研究所研究専門調査役
 昭和53年 同社同所トラヒック研究室室長
 昭和60年 同社同所橋田特別研究室室長
 平成元年 筑波大学大学院経営システム科学専攻教授

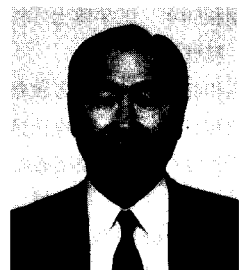
〔OR学会関係〕IAOR委員 昭和45～53年度、IAOR委員長 昭和54～55年度、理事 (無任所) 昭和61～62年度、評議員 昭和63年～平成2年度、表彰委員 昭和63年度～現在

〔著書等〕電子情報通信ハンドブック (分担執筆、オーム社)、情報処理ハンドブック (分担執筆、オーム社)、電子通信ハンドブック (分担執筆、オーム社)、論文25件、学会発表43件、解説資料13件、研究報告16件他

橋田氏は、交換機や計算機における性能評価、通信網における輻輳現象などに待ち行列理論やシミュレーション等を用いた研究に顕著な業績をあげられ、本学会や国際通信トラヒック会議などへの積極的な参加・発表を通じてORの実践・発展に貢献してこられました。特に、研究室長の立場では、通信網の計画・設計・運用へのORの応用研究を幅広く促進されるとともに、後進の指導にも尽力され、大学に移られてからは、情報ネットワークや情報システムに関する幅広いORの研究・教育に活躍しておられます。また、本学会においても、理事、評議員、研究部会主査などを歴任され、学会の運営・発展に貢献をされています。

平尾 信正 (ひらお のぶまさ) 氏

昭和11年3月17日生れ
 〔現住所〕東京都世田谷区祖師谷1-25-13
 〔学歴〕昭和34年3月 東京大学工学部応用化学科卒業
 〔職歴〕



昭和34年 東京ガス(株)入社
 昭和61年 同社フロンティアテクノロジー研究所長
 平成2年 同社商品開発部長
 平成3年 同社商品技術開発部長
 平成4年 同社取締役商品技術開発部長
 平成5年 同社取締役技術企画部長 (現在 同社常務取締役)

〔OR学会関係〕研究普及委員 昭和59～62年度、評議員、昭和61年度～現在、会員対策委員 平成5年度～現在

〔著書等〕エネルギーR&D 21世紀の研究開発戦略を探る（共著，省エネルギーセンター，1989）他

平尾氏は，大型計算機を利用したOR方法論の，企業実務への適用の可能性に早くから着目され，都市ガス事業のさまざまな分野への適用を積極的に進めてこられました。特に，昭和40年代，日本へのLNG（液化天然ガス）の初めての導入にあたっては，LNGタンカーの配船計画，LNGによる都市ガスの生産計画，さらに需要家のガス器具の転換計画等にORの手法を駆使し，ガス事業における原料の転換という大事業の円滑な遂行を支えられました。

さらに，社内のOR専門家チームの創設・運営を通じて，ガス事業経営全般へのOR手法の適用を推進されています。このような経験にもとづき，東京工業大学の非常勤講師として，ORの実践的応用について後進の指導にもあたられました。

また，本学会においては，評議員，研究普及委員，会員対策委員等を歴任され，本学会の運営・発展に貢献しています。

福川 忠昭（ふくかわ ただあき）氏

昭和17年2月13日生れ

〔現住所〕東京都港区西麻布3-7-15

〔学歴〕昭和44年3月 慶応義塾大学大学院工学研究科管理工学専攻博士課程所定単位取得退学

昭和60年 工学博士

〔職歴〕

昭和41年4月 慶応義塾大学工学部助手

昭和47年4月 同専任講師

昭和61年4月 慶応義塾大学理工学部助教授

平成3年4月 同教授

〔OR学会関係〕会計幹事 昭和44～47年度，昭和57～58年度，機関誌編集副委員長 昭和60～61年度，理事（無任所）平成2～3年度，日本学術会議経営学研連委員 平成2年度～現在，APORS'94組織委員会委員 平成5年度～現在

〔著書等〕経営管理会計（共著，日本規格協会，1981）経営計算（共著，朝倉書店，1992），他著書6冊，論文39編，学会発表・総合報告多数。

福川氏は，経営管理の問題に適したORの方法論の開発やそのための情報のあり方に関心をもたれ，多くの研究業績をあげてこられました。経営問題を常に意識して



なされる研究は，経営の広範な領域をカバーしておられ，なかでも多目標数理計画法とその応用として多くの成果をあげておられます。また，投資や財務の問題にも早くから取り組まれ，財務リスクの管理問題へと研究活動を広げられるとともに，平成3年度より3年間にわたって“金融と投資のOR”研究部会の主査として，ORの新しい対象分野の発展にも貢献してこられました。

長年にわたって本学会の各種の幹事，委員，理事などを歴任されるだけでなく，本学会が編集刊行した「OR事例集」（'83年）と「OR事例集1991」の編集委員も勤められ，本学会の運営・発展のために，多大な貢献をしてこられました。

藤井 進（ふじいすすむ）氏

昭和17年6月20日生れ

〔現住所〕兵庫県神戸市灘区篠原北町1-3-29

〔学歴〕昭和42年3月 京都大学大学院工学研究科精密工学専攻修士課程修了

昭和45年8月 ウィスコンシン大学大学院理工学研究科機械工学専攻博士課程修了（Ph. D.）

〔職歴〕

昭和45年 神戸大学工学部助手

昭和46年 同助教授

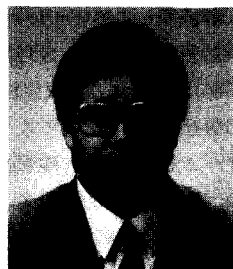
昭和59年 同教授（情報知能工学科）

〔OR学会関係〕関西支部運営委員 昭和55～63年度，同副支部長 平成元年～2年度，同支部長 平成3～4年度，理事（無任所）平成4～5年度，評議員 平成2～5年度

〔著書等〕システム工学（共著，森北出版），生産ソフトウェアシステム（共著，オーム社），システム工学の基礎（共著，中小企業調査会），論文56編，解説，講演，口頭発表多数。

藤井氏は，スケジューリング，シミュレーション等の分野の研究において顕著な業績をあげられるとともに，生産システムの自動化，統合化におけるORの適用にも努められ，近年では特に分散型仮想生産システムの研究を中心に活躍しておられます。

また，本学会においては，関西支部長，理事，評議員等も歴任され，長年にわたり本学会の運営，発展に貢献してこられました。



森清 堯 (もりきよ たかし) 氏

昭和18年11月23日生れ

〔現住所〕神奈川県横浜市磯子区森3-14-27

〔学歴〕昭和44年4月 東京工業大学大学院理工学研究科修士課程修了

〔職歴〕

昭和44年 (財)電力中央研究所入所

昭和57年 同所情報処理研究所計数処理研究室長

昭和60年 同所経済研究所数理研究室長

昭和63年 同所企画部企画課長

平成3年 同所経済研究所経済部長兼エネルギー研究室長

平成4年 同所経済社会研究所研究コーディネーター

この間、茨城大学工学部非常勤講師、テキサス大学エネルギー・システム研究センター客員研究員などを歴任

〔OR学会関係〕IAOR委員 昭和41~51年度、庶務幹事、昭和47~51年度、機関誌編集委員 昭和54~55年度、論文誌編集委員 昭和63~平成元年度、評議員 平成4~5年度、理事(庶務)昭和62~63年度、理事(庶務)平成6年度~現在、その他OR企業サロン企画委員、学会運営検討委員、会員増強委員等を歴任

〔著書等〕コンピュータ・マネジメントサイエンス・ハンドブック(共著、オーム社、1971)、高度情報化社会(共著、タイムライフ社、1985)、パワーコントロール・アンド・インフォメーション・シリーズ 情報処理の基本(共著、電気書院、1986)、電気事業の技術革新(日本工業新聞社、1986)、シンクタンク・ビジネス(共著、有斐閣、1988)、論文、研究報告、発表多数

森清氏は、電力需要分析、電力料金分析、配電設備管理モデル、電源計画モデルの開発などのエネルギーマネジメントに関連する研究に加え、電気事業の経営情報システム、特に意思決定支援システムやOA化方策などの研究開発等において、活躍してこられました。また、電力会社のORワーカーと連携し研究会を開催するなど、電気事業におけるORの普及にも努められ、さらにOR学会では、オペレーションズ・リサーチ誌の編集をはじめ、庶務幹事、庶務理事、評議員を務めるなど、長年にわたり学会の運営に大きな貢献をしてこられました。



山下 達哉 (やました たつや) 氏

昭和8年6月27日生れ

〔現住所〕東京都保谷市泉町2-17-2

〔学歴〕昭和34年 九州大学大学院工学研究科修士課程修了

〔職歴〕

昭和34年 九州電力(株)入社

昭和39年 日本IBM(株)入社

昭和52年 同社長期計画部長

昭和58年 同社企画推進部長

平成3年 富士短期大学経営学科教授

〔OR学会関係〕理事(会計)昭和61~62年度、評議員、昭和63年~平成5年度、財政問題検討委員長 昭和62年~平成元年度、OR企業サロン企画委員長 平成3年度~現在、表彰委員 平成5年度~現在、その他機関誌編集委員、庶務幹事などを歴任

〔著書等〕地球企業論(日刊工業新聞社)、現代グローバル経営要論(共著、同友館)、現代戦略経営要論(共著、同友館)、理念・ビジョン追求型経営(共著、都市文化社)、事業戦略の展開(共著、都市文化社)など20冊、論文、講演等多数

山下氏は、長く企業にあって、主として経営戦略、経営計画の立案にたずさわるなかで、OR手法の実践、推進を手がけてこられました。また同時に、社内におけるOR学会活動を推進し、定着させることに力を注がれました。

現在は、学界にあって、隣接科学である経営学の立場からORにアプローチし、学会会議研連の作業部会などに参加してこられた他、学会運営についても、各種の委員、理事として、その活動を支えてこられ、大きな貢献をしてこられました。



山本 保 (やまもと たもつ) 氏

昭和5年12月24日生れ

〔現住所〕宮城県仙台市青葉区台原3-13-12

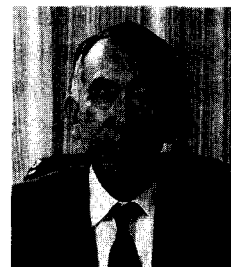
〔学歴〕昭和29年3月 東北大学工学部通信工学科卒業

〔職歴〕

昭和29年4月 東北電力(株)入社

昭和50年7月 同社情報システム室情報システム課長

昭和60年2月 同社情報システム室長



昭和62年6月 同社理事
昭和63年2月 同社理事情報通信部長
平成3年6月 東北コンピュータ・サービス㈱取締役社長

〔OR学会関係〕東北支部幹事 昭和51～53年度, 同支部運営委員 昭和60年度～現在, 評議員 昭和61年～平成3年度, 理事(無任所)平成3～4年度

山本氏は, OR学会東北支部発足時, 支部長所属の東北電力㈱におけるOR活動の中心的推進者として, 支部設立に大きな功績を残されました。OR技法の企業への導入に積極的に取り組み, ORの普及と教育を精力的に手がけてこられ, 特に仙台で開催されたOR学会の企画のすべてに関与されており, その成功は同氏に負うところが大きく, また, 同氏の企画した電気事業における災害復旧システムには, 多くのOR手法が盛り込まれています。現在, 東北コンピュータ・サービス㈱社長として, ソフトウェアの品質管理に深い関心をもたれるとともに, 東北地域における情報産業の育成と活性化に貢献しておられ, さらには, 支部運営委員, 理事, 評議員などを歴任され, 学会の運営にも多大な貢献をされています。

山本 芳嗣(やまもと よしつぐ)氏

昭和26年1月1日生れ
〔現住所〕茨城県つくば市並木2-201-202

〔学歴〕昭和53年3月 慶応義塾大学大学院工学研究科博士課程管理工学専攻単位取得退学

昭和53年9月 工学博士

〔職歴〕

昭和53年4月 慶応義塾大学工学部助手
昭和54年7月 東京工業大学理学部助手
昭和55年10月 筑波大学社会学系講師
昭和58年6月 同助教授
平成3年4月 同教授

〔OR学会関係〕第16回 文献賞授賞 昭和63年, 研究普及委員 昭和55～57年度, 論文誌編集委員 平成6年度, APORS'94プログラム委員 平成5～6年度

〔著書等〕数理計画法と組合せ最適化(共著, 日科技連出版社, 1982), オペレーションズ・リサーチ I(共著, 朝倉書店, 1991), 査読付論文27編, その他40編, 発表多数。

山本氏は, グラフ・ネットワーク, 整数計画問題をはじめ, 最近では計算幾何学や大域的最適化の分野など,

数理計画全般にわたって研究をされています。なかでも均衡点問題に対する単体の算法の研究では多くの成果を発表されており, その成果の1つに対して第16回文献賞が授与されました。また, 本学会には, 論文誌編集委員等として多大な貢献をされています。

渡辺 忠(わたなべ ただし)氏

昭和14年2月11日生れ

〔現住所〕新潟県新潟市南笹口1-1-24-507

〔学歴〕昭和36年 北海道大学理学部数学科卒業

昭和45年 上智大学大学院経済学研究科経済学専攻修士課程修了

〔職歴〕

昭和37年 防衛庁陸上幕僚監部運用解析班研究員

昭和59年 同陸上幕僚監部分析室長

昭和63年 同統合幕僚会議事務局分析室長

平成6年 新潟国際情報大学情報システム学科教授

〔OR学界関係〕庶務幹事 昭和45～46年度, 理事(庶務)昭和58～59年度, 評議員 昭和61～62年度

〔著書等〕初等ORテキスト(共著, 日科技連出版社), ORワークブック(共著, 日科技連出版社)等6冊, 論文および報告13件, 庁内研究報告多数。

渡辺氏は, 防衛庁において, 軍事ORの分野で研究を続けてこられ, 当該分野のORに明るい研究者として知られています。庁内においては, 米軍とのOR共同研究に従事しながら防衛庁日米ORセミナーの開催に尽力するなど, 多大な活躍をしてこられました。また, 日本科学技術連盟のOR教育コースの講師として, ORの普及教育にたずさわられるとともに, 本学会の運営面においても, 幹事, 理事, 評議員などを歴任され, 多大な貢献をしてこられました。

